

Topic
01

今月のピックアップ

大会開幕50日前イベント、ONE ASIA CREWカレッジ開催！

7月31日に日本財団ボランティアセンターと組織委員会の共催による、ONE ASIA CREWメンバーを対象とした「ONE ASIA CREW カレッジ」を開催しました！本イベントは、参加者それぞれが持つ経験やノウハウ、知識を持ち寄り、お互いに学び合う場で、一方的に教える・教わるのではなく、全員が対等な立場で交流しながら学ぶことを目的に実施しました！国際大会ならではのおもてなしの考え方や、活動をより楽しむための準備、日常でも活用できる英語表現など、実践につながる内容が多く、今後のボランティア活動へのイメージがより具体的になったという意見もいただきました。また、1994年広島アジア大会から2026年愛知・名古屋大会へと受け継がれるボランティアの思いや経験に触れ、大会を支える一員として活動できることへの期待も高まったのではないのでしょうか。

ファシリテーターの方々にはボランティア経験が豊富なため、どのセッションも、ボランティアとして活動するうえで役立つ知識や経験を学べる内容となっており、とても充実した時間となりました。また一方的に話を聞くだけでなく、参加者が一緒に考えたり、画面越しでも気軽に参加できる工夫が取り入れられていたことも印象的でした。終始あたたかく和やかな雰囲気の中で学ぶことができ、参加者同士のつながりも感じられる貴重な機会となりました。ファシリテーターの皆さまはじめ、参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

Topic
02職員向け
ボランティア理解研修

大会中にONE ASIA CREWの皆さまと活動をご一緒する組織委員会職員を対象に、「ボランティア理解研修」(4回目)を実施し、オンライン含め約400名の職員が参加しました。研修では、ONE ASIA CREWの皆さまが楽しく、安心して活動できる環境づくりや、より良い連携やコミュニケーションのあり方について理解を深めました。我々職員も、皆さまとご一緒になって活動する日を楽しみにしています。

Topic
03ONE ASIA CREWインタビュー
町田 光己さん

今回インタビューするのは、バスケットボール3×3競技スタッフを担当される町田光己さんです。町田さんは現在、鹿児島県の鹿屋体育大学に在籍しており、Bリーグのチームで長期インターンシップに参加し、競技運営の経験を積んでこられました。インターンシップでは、会場運営における導線管理や、選手・関係者への適切な配慮などについて学び、その経験を通じて培った知識やスキルを本大会でも活かしていきたいとお話してくださいました。3×3バスケットボールの大会を実際に観戦した経験はまだありませんが、事前に動画サイトなどを活用し、競技の特性や試合の雰囲気を把握することで、スムーズな対応ができるよう準備を進めているそうです。



町田さんが本大会で楽しみにしていることは、「愛知県のスポーツを支える」という共通の思いを持つONE ASIA CREWの皆さんとの交流です。また、各国から集まる選手や観客の皆さまと関わりながら、多文化が交わる国際的な大会運営に携われることにも大きな魅力を感じているそうです。事前準備にも積極的に取り組まれている町田さん。本大会では、その経験と熱意を活かしてご活躍いただけることを期待しています。最後に皆さんに一言いただきました。「アジア大会にボランティアとして参加することは、皆さんにとっても人生のビッグイベントだと思います。大会を成功させるために、私たちも最高の準備をしていきましょう！」